

2013年11月6日
東日本旅客鉄道株式会社

自らの技術を磨く！「技能教習所」104箇所の整備について

JR東日本では、お客さまに安心してご利用いただける鉄道を目指して、技術者の育成、特に鉄道の次代を担う社員にベテラン社員の技術や技能を確実に継承させることに力を入れています。

その一環として、それぞれの職場での鉄道固有の技術や技能の継承をサポートする「技能教習所」の整備を進めてきましたが、2014年3月に全箇所の整備が終了します。

1 「技能教習所」について

技能教習所は鉄道固有の技術や技能を基礎から学ぶための訓練施設です。鉄道車両のモックアップ（ドア開閉装置・ブレーキ装置等）や鉄道設備（軌道・分岐器・架線・信号設備等）を整備し、使いたいときに使える訓練施設として実際の設備に近い環境で訓練を行います。



技能教習所一例（八王子支社 笹子トレーニングセンター）

2 「技能教習所」を整備した経緯

若手社員が実際に作業を経験することが少なくなってきたこと、仕事の「勘所」を学ぶ必要があること、またベテラン社員の大量退職時期を迎え、今まで以上に効率的かつ効果的に技術・技能を継承する体制づくりが求められてきました。これまでも既存の研修センターや訓練センター等を活用し、社員への教育や訓練に取り組んできましたが、改めて次代を担う社員に、ベテラン社員の技術・技能を円滑に継承するための設備を充実させ、使いたいときに使える訓練施設として2010年度より整備に着手しました。

3 「技能教習所」の目的と役割

技術者の育成、特に鉄道の次代を担う社員にベテラン社員の技術・技能を確実に継承させることを目的としています。

技能教習所が果たす役割

身につけるべき技術・技能を体験に基づき習得できる施設

使いたいときに使える身近な訓練設備

地域特有の訓練設備 例) 首都圏：ホームドアなど

グループ・協力会社社員も利用可能な訓練設備

4 整備箇所数

104 箇所（別紙）

（現在 102 箇所の整備が終了し、残り 2 箇所についても 2014 年 3 月までに整備終了）

5 訓練の概要・活用例

計画的な訓練や業務での疑問を解消する場として使用します。また、整備そのものを技術・技能習得の機会として、現場第一線の社員が自ら設計・施工を行います。訓練設備や訓練メニューは、車両や設備の更新、鉄道技術の革新に合わせてその都度見直し、技術の変化に対応する訓練を継続的に行っております。

技能教習所での訓練（活用例）



車両故障調査訓練（車両）



分岐器組立て訓練（保線）

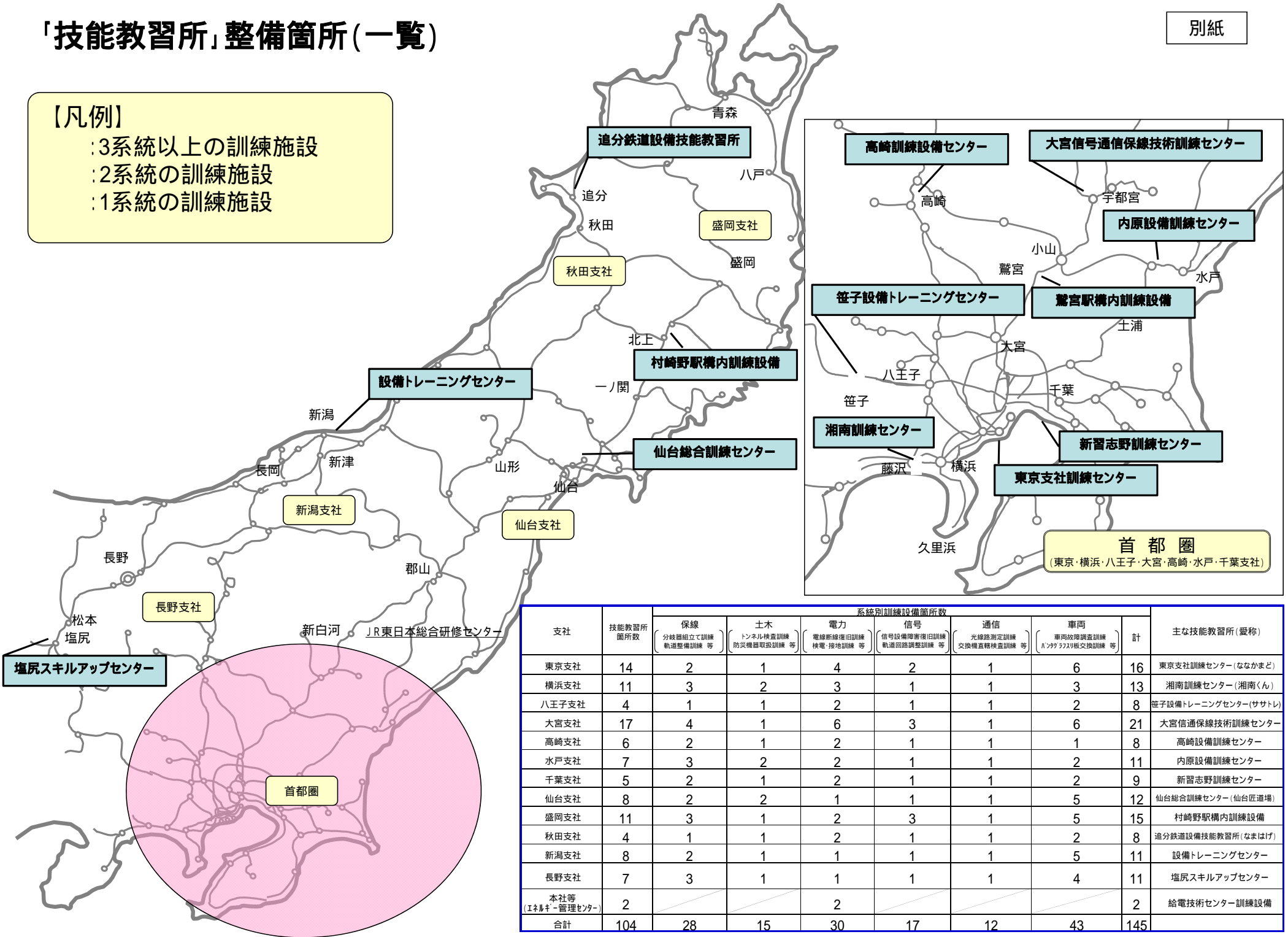


トンネル検査訓練（土木）

「技能教習所」整備箇所(一覧)

別紙

【凡例】
 : 3系統以上の訓練施設
 : 2系統の訓練施設
 : 1系統の訓練施設



支社	技能教習所 箇所数	系統別訓練設備箇所数						計	主な技能教習所(愛称)
		保線 (分岐器組立て訓練 軌道整備訓練 等)	土木 (トンネル検査訓練 防災機器取扱訓練 等)	電力 (電線断線復旧訓練 検電・接地訓練 等)	信号 (信号設備障害復旧訓練 軌道回路調整訓練 等)	通信 (光線路測定訓練 交換機直轄検査訓練 等)	車両 (ランカフタリ板交換訓練 等)		
東京支社	14	2	1	4	2	1	6	16	東京支社訓練センター(ななかまど)
横浜支社	11	3	2	3	1	1	3	13	湘南訓練センター(湘南(ん))
八王子支社	4	1	1	2	1	1	2	8	笹子設備トレーニングセンター(ササトレ)
大宮支社	17	4	1	6	3	1	6	21	大宮信号通信保線技術訓練センター
高崎支社	6	2	1	2	1	1	1	8	高崎設備訓練センター
水戸支社	7	3	2	2	1	1	2	11	内原設備訓練センター
千葉支社	5	2	1	2	1	1	2	9	新習志野訓練センター
仙台支社	8	2	2	1	1	1	5	12	仙台総合訓練センター(仙台匠道場)
盛岡支社	11	3	1	2	3	1	5	15	村崎野駅構内訓練設備
秋田支社	4	1	1	2	1	1	2	8	追分鉄道設備技能教習所(なまはげ)
新潟支社	8	2	1	1	1	1	5	11	設備トレーニングセンター
長野支社	7	3	1	1	1	1	4	11	塩尻スキルアップセンター
本社等 (エネルギー管理センター)	2			2				2	給電技術センター訓練設備
合計	104	28	15	30	17	12	43	145	